

かごしま
労働者福祉だより
第762号

〔発行所〕
(一社)鹿児島県労働者福祉協議会
〒890-0064
鹿児島市鴨池新町5-7-6F
☎099-254-3832

〔発行人〕
下町 和三

〔印刷〕
南日本新聞開発センター
〔編集〕
県労福協、連合鹿児島、九州労金
こくみん共済coop<全労済>、生協連
☆労福協だより
毎月15日に更新!!
鹿児島 労福協 検索

第95回メーデー鹿児島中央集会
メーデースローガン「連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ! 被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう!」

第95回メーデー鹿児島中央集会は、天候不安のため、集会実施、アピール行動(デモ行進)中止という決定をし、4月27日(土)10時より中央公園で開催されました。

主催者代表のあいさつで下町連合会長は、「尊厳ある労働と賃上げ、価格転嫁の追求」「誰ひとり取り残さない、働くことを軸とする安心社会」「選挙・政治への無関心が権力の腐敗と専横を招き、それが、自分自身を苦しめている」と訴えました。

来賓を代表し、塩田康一鹿児島県知事、下鶴隆央鹿児島市長のご挨拶を受け、最後に「さまざまな人たちとの対話と集団的労使関係を社会に広げる取り組みを進め、働く者・生活者の立場に立った政治勢力の結集・拡大を目指す」というメーデー宣言を全体で確認し、連合鹿児島地域協議会の徳留議長のガンバロー三唱で閉会しました。



第95回メーデー集会模様

食品ロス削減を

メーデー集会では、昨年引き続き、食品ロス削減運動の一環として「隠れ食品ロス(畑の食品ロス)」とされている規格外農産物を販売(今回は事情により規格外果物に変更)していくイベントを労福協、フードバンクかごしま、連合鹿児島、食とみどり、水を守る鹿児島県民の会と協働・連携して開催しました。これまでの生産と消費のあり方(持続可能な消費と生産)の見直しへの気づきの機会につなげていきたいものです。



岸田政権は、高い殺傷能力を持つ次期戦闘機の、日本から第三国への輸出を解禁した。武器輸出は、戦後厳しく制限してきたが、この半世紀で変質し、安倍政権では「武器輸出三原則」を「防衛装備移転三原則」へと見直し、事実上、武器輸出の門戸を開いた。

そもそも「武器輸出三原則」の意義とは平和憲法に沿うものであるが、日本経済が武器の生産と輸出に依存しない、いわゆる「武器常習性」を抑制する側面も持っている。

岸田政権は、防衛費を5年間で国内総生産比2%に倍増させ、総額43兆円に膨らませた。国際法を犯してまで

ウクライナに侵攻したロシア、深刻な人道危機を招いているイスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘など、絶えることなく世界では紛争が起きている。米国は国際問題への関与から遠ざかる内向き志向にある中、米国との同盟を強化する日本にも、新たな戦略が求められているのは確かだが、防衛力の強化だけが突出し、これからの国際秩序をどう構築しようとしているのか見えてこない。

そして何よりも憲法の理念に基づく政策が、政府・与党の協議で決まり、国会で審議されることもなく国民の幅広い理解も得られていない。そこには平和憲法を逸脱しないよう努力する戦後の良質な保守政治の姿はない。

「2024がっちり！つみたてキャンペーン」実施中！

ライフプランを実現するためには、将来どんなライフイベントがあり、どのようにお金を準備していくのかを具体的に考えていくことが重要です。

ろうきんでは、ライフプランの実現に向けた資産形成をサポートする取り組みとして、「2024がっちり！つみたてキャンペーン」を実施中(2025年1月31日まで)です。

キャンペーンでは、右記の対象商品2項目以上をご契約いただき本キャンペーンのアンケートにご回答いただいた方を対象に、抽選で500名様へ持っていたらちょっと自慢できるかわいい「ツカエルさんオリジナルグッズ」をプレゼントいたします。

この機会に「がっちり」ろうきんと将来のお金のことを考えてみませんか？

対象商品は右記の通りです。アンケートは「キャンペーンチラシ裏面」または「ろうきんアプリ内専用応募フォーム」にてご回答ください。

対 象 商 品	
①財形預金またはエース預金	期間中、新規預入金額が累計10万円以上の方
②NISA「つみたて投資枠」	〈九州ろうきん〉ですでにNISA（つみたて投資枠）で定期定額買付契約がある方、または新規にご契約いただいた方※期間中に買付が確認できない場合は、抽選対象外となります。
③NISA「成長投資枠」	期間中NISA（成長投資枠）で新規買付金額が累計10万円以上の方※定期定額買付も対象となります。
④iDeCo（個人型確定拠出年金）	〈九州ろうきん〉ですでにiDeCoのご契約がある方、または新規にご契約いただいた方※運用指図者は除きます。

2024がっちり！つみたてキャンペーン
九州ろうきん

期間中、新規預入金額が累計10万円以上の方

期間中、NISA（成長投資枠）で新規買付金額が累計10万円以上の方

期間中、NISA（つみたて投資枠）で定期定額買付契約がある方、または新規にご契約いただいた方

期間中、NISA（成長投資枠）で新規買付金額が累計10万円以上の方

〈九州ろうきん〉ですでにiDeCoのご契約がある方、または新規にご契約いただいた方

抽選品：サーモス・真空断熱ワンタッチボトル、SUGUBO防災クッション

合計250名様、合計250名様

※デザインはイメージです。また、色はお選びいただけません。

お問い合わせ先 九州ろうきん お客様サービス室
専用フリーダイヤル
☎ 0120-796-210
受付時間 / 平日 9:00～17:00
九州ろうきんは、お客様からのご声援とご支援に感謝いたします。

日置市・指宿市の新1年生に「マスコットキーホルダー」を贈呈！

鹿児島支店では、社会貢献活動の一環として、日置市・指宿市の新1年生664名に「ツカエルさん反射マスコットキーホルダー」を贈呈しました。日置市立伊集院小学校と指宿市立丹波小学校では、新1年生へ直接「キーホルダー」を贈呈することができました。贈呈先の学校からは、たくさんのお礼の言葉をいただきました。

車のライトに反射してピカッと光り、ドライバーに子供たちの存在を知らせる「キーホルダー」を新1年生の交通安全・防犯に活用いただけると幸いです。これからも福祉金融機関として未来明るい子供達の支援を続けていきます。



日置市立伊集院小学校
(左から渦尾校長・新1年生・鹿児島支店 松田次長)



指宿市立丹波小学校
(後列左から鹿児島支店 松田次長・畑添校長・新1年生)

鹿児島支店長杯グラウンドゴルフ春季大会を開催しました！

九州ろうきん友の会鹿児島支部と日置支部は4月16日、伊集院総合運動場にて「鹿児島支店長杯グラウンドゴルフ春季大会」を開催し、総勢56名の会員が集いました。当日は、気候も良く絶好のグラウンドゴルフ日和となりました。開会式では、高橋日置支部会長、辻村鹿児島支店長の挨拶を受け、大会をスタートしました。各ホールでは、和やかな雰囲気の中、日頃の練習の成果を存分に発揮し大いに盛り上がりました。ホールインワンが出ると、大きい歓声上がるなど、お互いの健闘を讃えあいながら楽しく交流を深めることができました。



表彰式では、優勝の鶴田兼一さん(鹿児島支部)のほか、各賞の表彰を行い、秋季大会での再会を期して閉会しました。

- 優勝 鶴田兼一 鹿児島支部 29打
- 2位 唐鎌ミキ 鹿児島支部 34打
- 3位 徳田政幸 鹿児島支部 36打
- 4位 仁科隆夫 鹿児島支部 37打
- ※ 2ホール成績



「言いたい劇場」 小菅りや子



フードバンクかごしまと協働でベトナム人留学生への食糧支援を実施

鹿児島県労働者福祉協議会では「引き続き新型コロナ禍の影響や昨今の物価高で困窮しているベトナム人留学生に対し、生活支援をしていくことで少しでも学習できる環境作りにつなげていく」ことを目的として中央労福協の「ろうふくエール基金」も活用しながら食糧支援を実施しました。

具体的には、NPO法人フードバンクかごしま(原田一世代表理事)、県日越友好協会(谷口学会長)の理解と協力をいただき、ベトナム・ネパールからの鹿児島県内への留学生に対する食糧の提供による支援活動を実施しました。

4月13日(土)10時から、九州労金鹿児島県本部5階大ホールにて、ベトナム・ネパール人留学生代表25人も参加する中で目録による贈呈を行いました。下町理事長から「労福協の紹介・取り組みの趣旨・支援の気持ち」、原田代表理事から「有意義な学生生活へのささやかな支援、鹿児島の学生との交流」、谷口会長から「3回目となった支援への心からの感謝と留学生への激励」等についてあいさつがありました。

最後に留学生の代表者より「多くの留学生が困窮している中であたたかいご支援を頂きありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。この支援は私たちの大きな励みとなります。これからも日本での勉強を頑張っていきます。本当にありがとうございました。」と心のこもった素敵な日本語であいさついただきました。「少しでも留学生のみなさんの支えになれば」との思いで実施しましたが、生き生きとした嬉しそうな表情に私たちが元気をもらいました。



全員にっこり

報告

コスモテック労働組合にて 新入組合員研修・若年層研修会を実施

コスモテック労働組合において、2024年4月18日(木)「新入組合員研修」・4月19日(金)「若年層研修会」を実施しました。

「新入組合員研修」には8名の新入組合員の皆さまに参加いただき、こくみん共済 coopの田崎職員が「セット共済一律加入の案内」および「新入組合員むけの保障設計」について説明しました。また、「若年層研修会」には10名の若年層組合員の方にご参加いただき「若年層むけの保障の考え方(マイカー共済・終身医療共済)」についての研修を実施しました。



▲ 新入組合員研修



▲ 若年層研修会



▲ 新入組合員研修



▲ こくみん共済 coop 田崎職員



【執行部からの感想】

今回の新入組合員研修・若年層研修会を通して、若いうちから保障について意識してくれることを期待しています。

こくみん共済 coopでは、相談窓口や説明会を実施しておりますので、今後も協力団体での相談窓口の実施やセミナー等に参加させていただければ幸いです。

保障の説明中にぐらり！ 奄美地域労福協ライフプランセミナー

奄美地域労福協は3月15日(金)、九州労働金庫大島支店会議室でライフプランセミナーを開催し25名が参加しました。

はじめに、九州労働金庫大島支店から『未来予想図を描くライフプラン』と題して、キャッシュフロー表を活用したお金の管理方法やライフイベント・セカンドライフに備えた貯蓄の重要性について提案・説明がありました。また、『つみたてNISA』や『iDeCo (個人型確定拠出年金)』のメリット・デメリットについても説明があり、資産形成について理解を深めることができました。

続いて、こくみん共済coopから『住まいの保障について～災害時無保障者の解消をめざして』をテーマに、現在の自然災害の発生状況や保障最適化に向けてのポイントをわかりやすく説明してもらいました。

今回の学習会中、奄美では震度4の地震が発生し、保障の必要性について改めて体感し、将来を見据えてしっかりと備えなければいけないと考えさせられた貴重なセミナーになりました。



熱心に話を聴く参加者

報告 「ぼうさいカフェ」の開催

4月27日(土)に鹿児島市中央公園で「ぼうさいカフェ」を開催しました。当日は「連合鹿児島第95回メーデー鹿児島中央集会」内で開催し、過去の災害パネル、VR(仮想現実)を用いた地震体験などを行い、多くの方にブースへお越しいただき、「誰でもちょっとしたことで自分の身を守り、被害を小さくすることができる」を体験していただきました。

こくみん共済 coop では2010年度から「家族と一緒に防災について考える時間」として防災について家族で学び、備えを見直す機会を作っていただく取り組みとして「ぼうさいカフェ」を開催しています。

「ぼうさいカフェ」は、地震などの自然災害に対する備えや知識、大切な人や大事な財産を守る術をお伝えし、防災力向上や防災意識を高めるために推進している取り組みです。



◇共済ショップ鹿屋店

～2024年5月31日(金)

営業時間

平日：9時30分～17時

第4土曜日：9時30分～16時

(定休日：第4土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日)

2024年6月1日(土)～

営業時間

平日：9時30分～17時

(定休日：土曜日・日曜日・祝日)

**共済ショップ鹿屋店
第4土曜日の営業終了のお知らせ**

2021年10月からご利用いただきました共済ショップぐりんぼう鹿屋店の第4土曜日の店舗営業を2024年5月25日(土)で終了させていただきます。ご利用のお客様にはご迷惑・ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどお願いいたします。
なお、引き続き平日は9時30分から17時まで営業をしておりますので、みなさまのご来店をおまちしております。

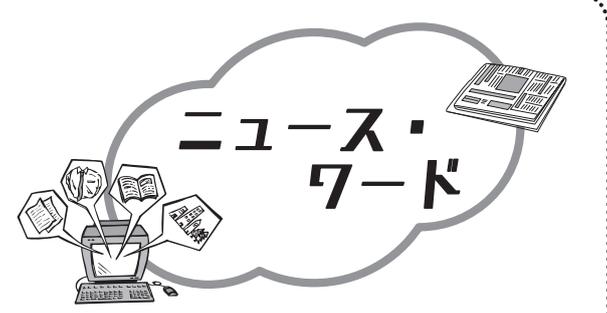
セルフコンパッション でうまくいく!

私たちの脳はネガティブな感情に注目し、それについて長く考えようとし、それも、実は毎日、それに負けないくらいたくさんさんのポジティブな感情が生まれています。この1カ月、もしできそうなら、その感情をつかまえ、それを言葉にして相手に伝える練習をしてみませんか。

④⑥温かな感情を共有する

臨床心理士 山藤奈穂子

笑顔で聞いてもらえるだけで安心します」
私たちの脳はポジティブな感情にあまり長いあいだとどまろうとしません。なぜなら、ネガティブな感情のほうが、進化の歴史の中で生存のために重要だったからです。でも、ニュースやSNSで常に世界中の情報に触れる現代、ネガティブな感情ばかりに注目していると圧倒されます。
脳がリラックスするためには、人とのつながりが必要です。笑顔、感謝の言葉、「うれしく思っています」という好意を言葉にして人にプレゼントすることが、副交感神経を優位にし、ストレスを緩和するのです。
うそをつく必要はありません。無理をする必要もありません。一日のどこかに必ずある、相手の小さな好意を見つけ、その瞬間をつかまえて言葉にし、感謝を伝えてみましょう。
それが全く感じられないときは要注意。心身の疲労が強すぎるとポジティブな感情にはなりません。ぜひ専門家を頼ってください。



マルハラ

メールやLINEなどの文章が句点「。」で終わっていると、若者は、やり取りを断ち切れられ、威圧されたように感じることから、「マルハラスメント」と呼ばれています。大人世代はメールが長文になりがちで、読みやすくなるために改行したり句点をつけたりします。誤解を生まないよう、絵文字や顔文字を付けることもあります。
一方、若者世代はLINEで会話のように瞬時に文字でやり取りをするため、句点や絵文字、顔文字をほとんど使いません。



読者の声

298

「労働者福祉だより」は、職場に情報紙が届く前にインターネットで閲覧して、早めにクイズに応募しています(笑)。(鹿児島市)

退職後〇十年、財布から現金で支払うことが少なくなり、便利ですが少しさびしい気がします。世の流れについてい

かねば…。労働者の金庫番号ろうきんさんの存在、大きいです!
(指宿市)

3月号ニュース・ワードに掲載されたトイレトレーラーは、万が一の時にとても役立ちそうですね。国で所有して自治体に派遣できるといいですね。
(大分県宇佐市)

息子がコープ共済の保険に加入しました。対応が丁寧で助かりました。
(指宿市)

「セルフコンパッションでうまくいく!」をいつも参考にしています。3月号掲載の愚痴の

聞き流し方は、自分にとってタイムリーで、この春さっそく活かしていきたいです。相手も自分も心地良い関係を保ちたいものです。
(鹿児島市)

3月号で紹介された、始良伊佐地域労協の「ソボと健康」についての介護教室開催の記事は、とても興味深く感じられました。
(霧島市)

毎月「労働者福祉だより」を楽しみにしています。各地域で目的を明確に活動されていて毎回感心しています。今年も県民全員で質上げを頑張りたいです。
(志布志市)

